

富山県鉱工業生産の動き

～平成30年(2018年)5月分～

総合指数

平成22年(2010年)=100、季節調整済

	30年5月	前月比	前年同月比
生産指数	116.1	3.3%	5.6%
在庫指数	139.3	7.2%	8.8%

1 生産指数 (季節調整済指数) は116.1と前月に比べ3.3%の上昇となり、4ヵ月連続で上昇した(図表)。

これは13業種中、**化学工業、はん用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業**など10業種において上昇したことによる。なお、**低下した業種は電気機械工業、窯業・土石製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業の3業種**である。

業種別にみると、**化学工業は医薬品**などの増加により同6.3%の上昇で230.7となり、**はん用・生産用・業務用機械工業は金属工作機械**などの増加により同8.1%の上昇で162.3となった。他方、**電気機械工業は同▲14.3%で45.1**となり、**窯業・土石製品工業は同▲3.9%で66.5**となった。

また、前年同月比(原指数)は5.6%の上昇となり、4ヵ月ぶりに前年を上回った。

なお、13業種中、平成22年基準の指数100を上回っている業種は、**化学工業(230.7)、はん用・生産用・業務用機械工業(162.3)**などの8業種となっている。

2 在庫指数 (季節調整済指数) は139.3と前月に比べ7.2%の上昇となり、2ヵ月ぶりに上昇した(図表)。

これは13業種中、**化学工業、はん用・生産用・業務用機械工業**など8業種が上昇したことによる。なお、**低下した業種は食料品工業、繊維工業**など4業種である。また、**窯業・土石製品工業が横ばい**となった。

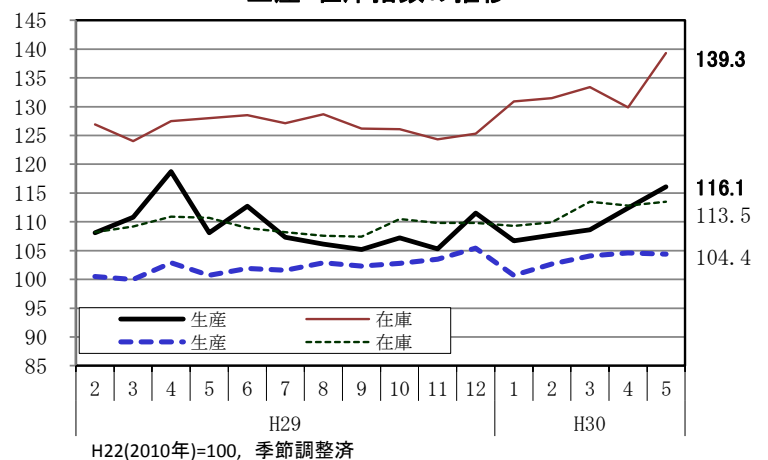
前年同月比(原指数)は8.8%の上昇となり、6ヵ月連続で前年を上回った。

指数の動き

平成22年(2010年)=100、季節調整済指数

		富山県		全国	
		生産指数	在庫指数	生産指数	在庫指数
平成29年	2月	108.1	126.9	100.5	108.2
	3月	110.8	124.0	100.0	109.2
	4月	118.7	127.5	102.9	110.9
	5月	108.1	128.0	100.7	110.7
	6月	112.7	128.5	101.9	108.9
	7月	107.3	127.1	101.6	108.2
	8月	106.1	128.7	102.9	107.6
	9月	105.2	126.2	102.3	107.4
	10月	107.2	126.1	102.8	110.5
	11月	105.3	124.3	103.5	109.8
	12月	111.5	125.3	105.4	109.8
	平成30年	1月	106.7	130.9	100.7
2月		107.7	131.5	102.7	109.9
3月		108.6	133.4	104.1	113.5
4月		112.4	129.9	104.6	112.8
5月		116.1	139.3	104.4	113.5

生産・在庫指数の推移



□ 次回公表予定日：平成30年8月24日(金)

□ 「富山県鉱工業生産の動き」は、HP「とやま統計ワールド」でご覧になれます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>

平成30年5月分 業種別の主な動向

※ ウェイトは10000分比で算出

※ 業種は寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載

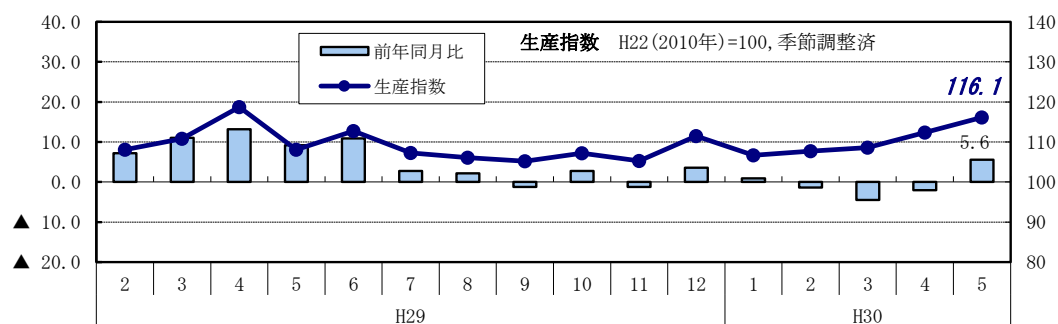
<生産>〔指数 116.1 (前月比 3.3%)〕

↑上昇した業種(10業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
化学工業	1495.7	230.7	6.3%	医薬品など	35.3%
はん用・生産用・業務用機械工業	1347.1	162.3	8.1%	金属工作機械など	▲3.5%
金属製品工業	892.4	104.9	6.9%	金属製建具など	7.3%

↓低下した業種(3業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
電気機械工業	2247.2	45.1	▲14.3%		▲8.4%
窯業・土石製品工業	286.3	66.5	▲3.9%		▲3.9%
パルプ・紙・紙加工品工業	316.9	96.0	▲0.6%		▲0.9%



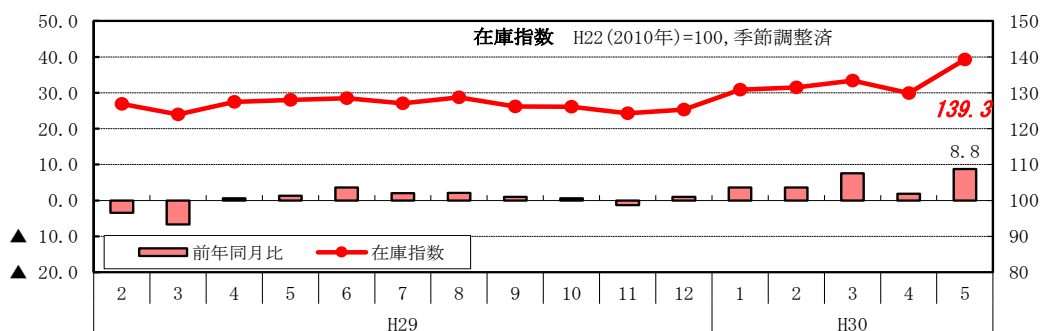
<在庫>〔指数 139.3 (前月比 7.2%)〕

↑上昇した業種(8業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
化学工業	2727.9	160.6	19.8%	医薬品など	6.7%
はん用・生産用・業務用機械工業	1462.6	134.7	4.1%		▲1.6%
プラスチック製品工業	942.9	133.3	4.5%		15.2%

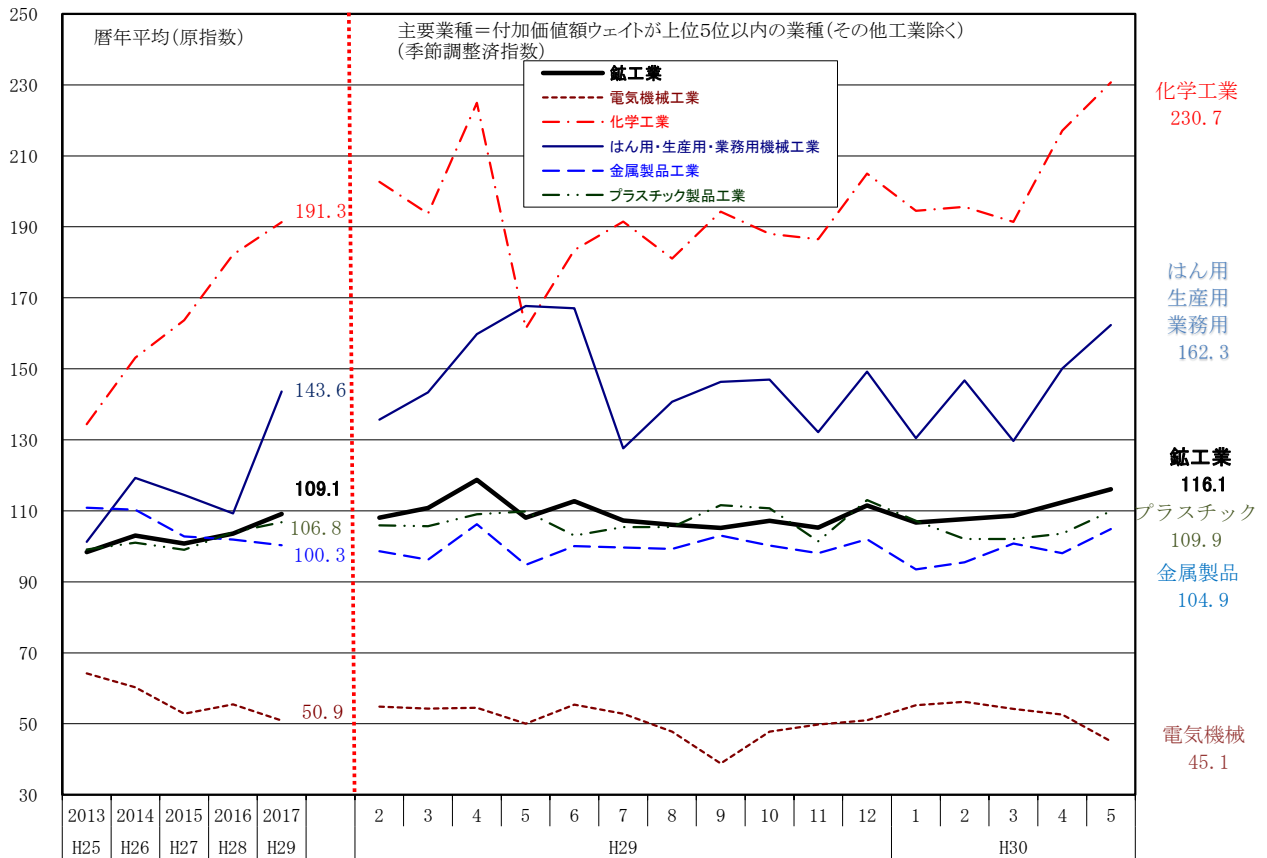
↓低下した業種(4業種)

主な業種	ウェイト	指数	前月比	寄与した主な品目	前年同月比
食料品工業	649.2	81.4	▲3.2%	飲料など	▲3.1%
繊維工業	389.0	84.6	▲2.8%	織物など	▲9.1%
パルプ・紙・紙加工品工業	773.9	93.6	▲0.6%	板紙など	▲6.8%



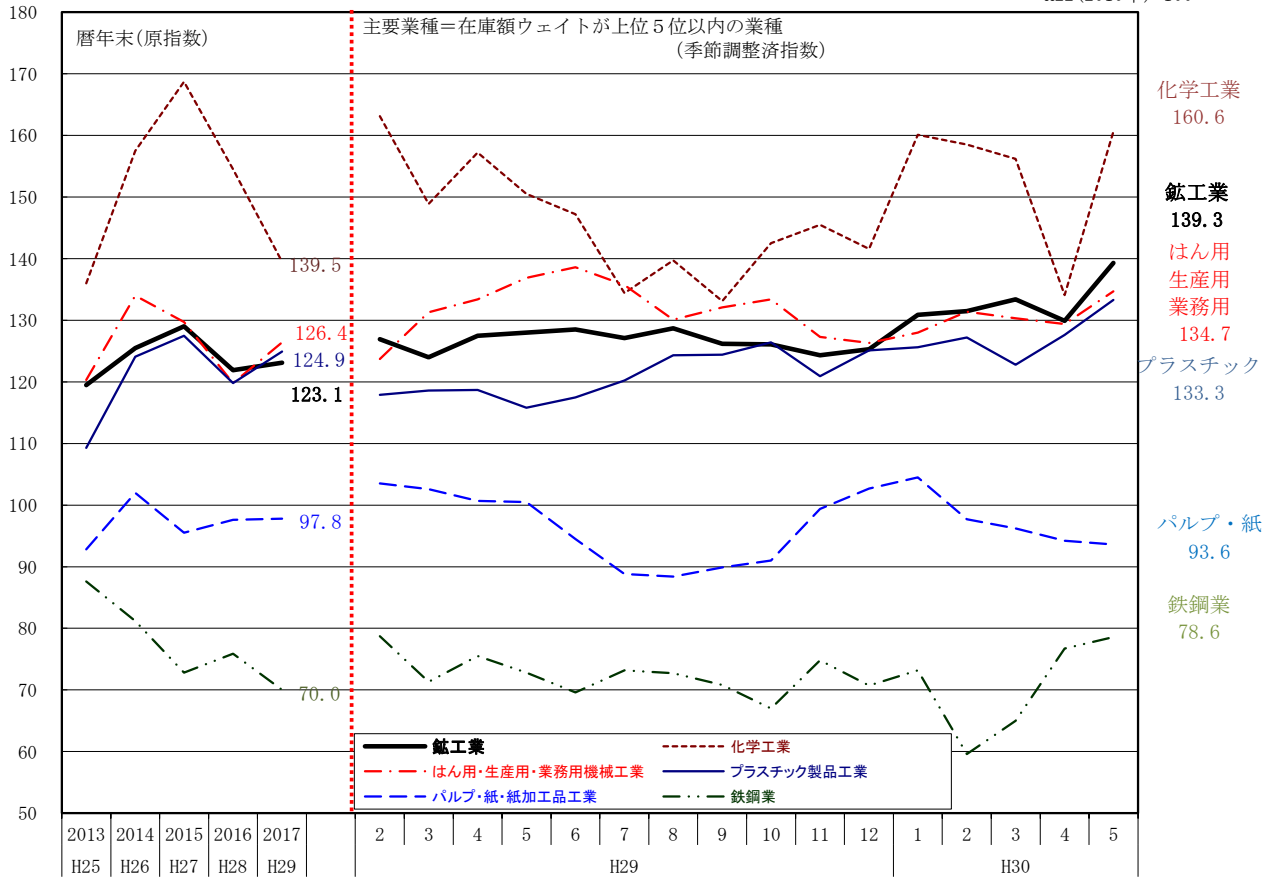
主要業種別生産指数の推移(富山県)

H22(2010年)=100



主要業種別在庫指数の推移(富山県)

H22(2010年)=100



	鉱工業 Mining and manufacturing											
	品目数 Items	最終需要財 Final demand goods							生産財 Producer goods		その他用生産財 For Others	
		ウェイト Weight	投資財 Investment goods	消費財 Consumer goods	資本財 Capital goods	建設財 Construction goods	耐久消費財 Durable consumer goods	非耐久消費財 Non-Durable consumer goods	鉱工業用生産財 For mining and manufacturing			
	188	65	42	22	20	23	2	21	123	114	9	
平成 25年	98.4	115.8	97.9	96.3	99.4	136.6	115.5	136.7	88.9	88.4	101.9	C.Y 2013
26年	103.0	128.3	105.2	116.3	95.9	155.3	112.5	155.5	89.2	88.8	99.1	C.Y 2014
27年	100.8	127.8	97.7	107.6	89.3	163.0	99.0	163.2	86.1	85.6	98.9	C.Y 2015
28年	103.6	132.4	93.4	100.4	87.4	177.9	109.9	178.1	87.9	87.6	97.6	C.Y 2016
29年	109.1	146.1	113.2	145.8	85.5	184.7	89.9	185.0	89.1	88.7	98.2	C.Y 2017
平成29年 I期	108.4	144.7	104.7	127.5	84.8	191.4	96.9	191.8	89.2	88.8	99.1	Q1 2017
II期	113.2	153.2	128.4	179.7	86.3	184.3	91.2	184.7	91.2	90.9	98.3	Q2
III期	106.2	143.0	109.2	137.2	85.7	183.1	88.6	183.4	86.4	86.1	96.8	Q3
IV期	108.0	143.8	110.2	142.6	84.5	183.1	82.9	183.3	88.6	88.1	99.4	Q4
平成30年 I期	107.7	143.6	104.0	129.3	81.3	189.2	77.8	189.6	88.6	88.3	96.4	Q1 2018
平成29年 2月	108.1	147.2	106.5	133.2	85.4	196.1	97.7	196.5	88.2	87.9	98.8	Feb 2017
3月	110.8	148.5	114.7	146.5	84.6	186.6	90.2	187.0	90.0	89.7	97.9	Mar
4月	118.7	165.1	127.2	163.5	91.2	211.6	56.8	212.1	93.6	93.4	101.5	Apr
5月	108.1	143.4	129.5	189.1	83.0	160.4	119.9	160.6	89.1	88.8	99.5	Mar
6月	112.7	151.2	128.4	186.4	84.7	181.0	96.9	181.3	90.9	90.6	94.0	Jun
7月	107.3	139.3	104.4	121.8	86.9	178.9	88.4	179.3	88.9	88.6	98.2	Jul
8月	106.1	140.7	111.4	145.6	84.8	173.5	103.6	173.7	87.6	87.3	98.7	Aug
9月	105.2	148.9	111.8	144.3	85.4	197.0	73.7	197.2	82.7	82.3	93.4	Sep
10月	107.2	144.7	112.6	151.4	84.8	182.2	92.9	182.5	87.0	86.5	97.0	Oct
11月	105.3	137.1	101.6	126.9	82.7	176.2	87.9	176.1	87.8	87.2	100.8	Nov
12月	111.5	149.7	116.5	149.6	86.1	190.8	67.9	191.2	91.0	90.7	100.4	Dec
平成30年 1月	106.7	140.4	96.8	119.6	77.8	191.0	74.7	191.4	89.1	88.8	99.7	Jan 2018
2月	107.7	147.7	111.4	149.5	78.7	189.6	90.4	189.9	87.1	86.8	96.9	Dec
3月	108.6	142.6	103.8	118.7	87.3	187.1	68.2	187.5	89.6	89.4	93.7	Mar
4月	112.4	158.4	115.7	152.0	85.3	208.1	71.8	208.6	87.8	87.3	103.0	Apr
5月	116.1	167.7	123.8	162.0	92.1	220.6	58.2	221.0	88.4	87.9	103.2	May
季節調整済指数前月比(%)	3.3	5.9	7.0	6.6	8.0	6.0	▲ 18.9	5.9	0.7	0.7	0.2	
原 指 数	111.3	158.4	115.8	150.4	86.5	208.2	66.8	208.6	85.8	85.1	104.4	
原指数前年同月比(%)	5.6	14.5	▲ 4.8	▲ 11.8	7.7	31.9	▲ 42.9	32.0	▲ 2.1	▲ 2.2	1.1	

	鉱工業 Mining and manufacturing											
	品目数 Items	最終需要財 Final demand goods							生産財 Producer goods		その他用生産財 For Others	
		ウェイト Weight	投資財 Investment goods	消費財 Consumer goods	資本財 Capital goods	建設財 Construction goods	耐久消費財 Durable consumer goods	非耐久消費財 Non-Durable consumer goods	鉱工業用生産財 For mining and manufacturing			
	117	37	19	7	12	18	1	17	80	74	6	
平成 25年	119.5	121.2	89.6	89.6	89.6	137.5	57.2	137.6	118.4	120.1	93.9	C.Y 2013
26年	125.5	138.6	91.9	103.4	89.0	162.6	40.9	162.7	117.0	119.2	86.5	C.Y 2014
27年	129.0	139.8	85.8	106.0	80.8	167.5	30.1	167.7	121.9	123.7	96.4	C.Y 2015
28年	121.9	135.1	90.9	91.9	90.7	157.8	35.8	157.9	113.4	115.7	80.7	C.Y 2016
29年	123.1	127.2	91.6	104.0	88.6	145.5	31.0	145.6	120.4	123.2	80.4	C.Y 2017
平成29年 I期	124.0	135.1	92.6	100.2	90.3	156.5	29.6	156.6	116.6	120.2	61.8	Q1 2017
II期	128.5	134.4	92.1	104.5	89.3	155.8	33.3	155.8	125.8	130.5	60.2	Q2
III期	126.2	126.4	95.8	99.2	95.1	141.7	27.7	141.7	126.3	129.9	75.0	Q3
IV期	125.3	130.0	96.1	103.1	94.3	147.5	27.8	147.6	122.3	125.4	79.7	Q4
平成30年 I期	133.4	141.6	93.2	101.8	90.7	166.0	33.8	166.1	127.9	132.3	61.0	Q1 2018
平成29年 2月	126.9	143.5	91.4	82.9	93.1	170.6	24.7	170.8	116.9	120.3	70.1	Feb 2017
3月	124.0	135.1	92.6	100.2	90.3	156.5	29.6	156.6	116.6	120.2	61.8	Mar
4月	127.5	139.8	93.4	89.1	94.7	164.0	29.8	164.2	119.6	123.9	55.9	Apr
5月	128.0	137.8	95.0	103.4	93.1	160.0	31.8	160.2	120.5	125.0	57.2	Mar
6月	128.5	134.4	92.1	104.5	89.3	155.8	33.3	155.8	125.8	130.5	60.2	Jun
7月	127.1	126.8	93.6	107.0	89.6	143.9	39.5	144.0	127.2	132.0	59.2	Jul
8月	128.7	129.1	93.2	97.9	92.2	146.9	31.1	147.1	128.5	132.9	69.6	Aug
9月	126.2	126.4	95.8	99.2	95.1	141.7	27.7	141.7	126.3	129.9	75.0	Sep
10月	126.1	130.7	96.9	96.8	97.0	147.8	31.3	147.9	123.1	126.1	80.6	Oct
11月	124.3	132.7	99.4	106.3	97.8	149.9	28.4	150.0	118.0	120.4	84.8	Nov
12月	125.3	130.0	96.1	103.1	94.3	147.5	27.8	147.6	122.3	125.4	79.7	Dec
平成30年 1月	130.9	141.2	92.2	100.5	90.4	166.2	27.0	166.3	124.4	128.2	70.9	Jan 2018
2月	131.5	139.8	90.5	109.7	85.3	165.5	30.3	165.8	127.1	131.0	72.1	Feb
3月	133.4	141.6	93.2	101.8	90.7	166.0	33.8	166.1	127.9	132.3	61.0	Mar
4月	129.9	124.4	93.3	90.8	94.2	140.4	29.3	140.5	133.3	137.9	65.5	Apr
5月	139.3	143.5	94.9	85.8	97.3	168.8	31.9	168.9	135.1	140.1	65.6	May
季節調整済指数前月比(%)	7.2	15.4	1.7	▲ 5.5	3.3	20.2	8.9	20.2	1.4	1.6	0.2	
原 指 数	140.1	140.5	94.6	84.4	97.1	164.1	30.4	164.2	139.8	145.1	65.8	
原指数前年同月比(%)	8.8	4.2	▲ 0.1	▲ 17.1	4.5	5.5	0.3	5.5	12.1	12.0	14.6	

※ 生産、在庫の年数値は原指数である。

※ 在庫の年数値は年末値、四半期数値は期末値である。

最終需要財(鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。)

投資財(資本財と建設財の合計)

資本財(家計以外で購入される製品で、原則、想定耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高いもの。)

建設財(建築工事用の資材及び衛生用陶磁器等の建築物に付随する内装品及び土木工事用の資材)

消費財(家計で購入される製品。耐久消費財と非耐久消費財の合計)

耐久消費財(原則、想定耐用年数1年以上で、比較的購入単価が高いもの。)

非耐久消費財(原則、想定耐用年数1年未満又は比較的購入単価が安いもの。)

生産財(鉱工業又は他の産業に原材料等として投入される製品。ただし、企業消費財を含み、建設財を除く。)

鉱工業用生産財(鉱工業の生産工程に、原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品)

その他用生産財(非鉱工業用の原材料、燃料、容器、消耗品及び企業消費財)

鋳工業指数利用者のために（利用上の注意）

1 作成目的

鋳工業の生産及び在庫状況を数量的に調査し、富山県における鋳工業の動向を総合的に把握することを目的とする。鋳工業指数とは、一定地域内における月々の鋳工業生産量及び在庫量を、ある一定時期を基準にして指数化したものである。

2 基準時及びウェイト算定年次

指数の基準時は平成22年(2010年)である。したがって、指数値は平成22年の平均を100.0とした比率で示されている。また、ウェイトも平成22年の産業構造により作成されている。平成22年基準は、平成25年11月25日に公表し、同年9月分指数から適用するとともに、平成20年(2008年)まで遡及計算を行っている。

3 分類

分類は、日本標準産業中分類(若干の組み替えを行っている)に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「特殊分類(財別)」の2つの分類による。

4 指数の種類及び採用品目数

	平成 22 年基準採用品目数			電力・ガス事業 《参考系列》	ウェイト 算定基準
	計	製造工業	鋳業		
生産指数	187	187	—	2	付加価値額
生産者製品在庫指数	116	116	—	1	在庫額

- ・生産指数(付加価値額ウェイト)⇒生産活動の生産水準の動き
- ・生産者製品在庫指数⇒生産製品が出荷されずに生産者段階に残っている在庫の動き
- ※ 受注生産等で在庫を把握する必要がないものや、在庫の把握が極めて困難で数値が得られない品目があるため、生産者製品在庫指数の採用品目数は、生産指数より少ない。特殊分類は、財用途が2財にわたる(1品目)ものはウェイトを分割して各財毎に集計しているため、業種分類と特殊分類では採用品目数が一致していない。また、採用単位は、製品数量単位及び製品固有単位を基本としている。

5 総合指数の算式

総合指数の算式は、品目別指数を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法(ラスパイレス算式)による。具体的には次のとおり。

$$I_t = \frac{\sum P_{i0} Q_{it}}{\sum P_{i0} Q_{i0}} = \sum \frac{P_{i0} Q_{i0}}{\sum P_{i0} Q_{i0}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{i0}} \right] = \sum \frac{W_{i0}}{\sum W_{i0}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{i0}} \right]$$

I_t …t時点の総合指数

P_{i0} …品目別平成22年平均単価(生産指数は品目別平成22年平均付加価値単価)

Q_{i0} …品目別平成22年1ヶ月平均数量(基準数量)

Q_{it} …品目別比較時数量

W_{i0} …品目別平成22年ウェイト(ウェイトは鋳工業に対する万分比)

6 季節調整方法

センサス局法(X-12-ARIMA)を採用

季節調整済指数＝原指数÷(季節・曜日・祝祭日・うるう年指数)

※ 在庫指数の場合、()内は季節指数のみ。

※ 平成29年1月以降の季節指数は、平成28年の季節指数を適用している。

7 その他

本書記載の数値を転載するときは、「富山県鋳工業生産の動き」による旨を明記してください。

この月報の前月公表値が修正報告により若干変更されている場合があります。

内容についてのお問い合わせは、下記あてにお願いします。

〒 930-8501 富山市新総曲輪1番7号
富山県 経営管理部 統計調査課 商工係
Tel:076-444-3193(直通)